



取り戻そう！ 今こそ議会を 市民の手に

し お み

# 塩見まきこ

市議会ニュースレター



2010 年春号

発行責任者:塩見牧子 〒630-0215 生駒市東葉畑 1-316-1 朝日プラザ 502 TEL:0743-75-3403 FAX:0743-74-8518 e-mail:shiohara753@yahoo.co.jp

## 山下市政二期目スタート！変わるか議会？

山下市長の再選から二カ月。

議会も市長選挙の結果を多少は受け止めるかと、やや期待をもって3月議会に臨みましたが、状況は改選前とあまり変わらず。今議会も市長マニフェストに関係する重要案件のうち、市提案の行政組織条例の改正案や議員提案の病院事業設置条例の改正案が否決されるなど、行政改革、市立病院開設への道のりはまだまだ険しいと言わざるをえません。

引き続き、皆さまには議会の動向を注視していただきたいと思います。

### またしても…！ ～3度目の行政組織条例の改正案否決！～

平成18年9月議会、平成20年3月議会に続き、山下市長就任後3度目となる行政組織条例の改正案が今議会、提出されました。

今回の改正の目的は、一つの「部」の中に一つの「課」しかない「開発部」を「都市整備部」と統合し「まちづくり推進部」と名称を改めるとともに、複数の「課」にまたがる業務を整理し、行政組織の簡素化と業務の効率化をはかることです。(右図参照)

しかし、3月18日に開催された企画総務委員会(小笹委員長)では、「『開発』の名称をなくすと、現在奈良県とUR(都市再生機構)との間で学研高山第二工区の開発計画見直しプロジェクトを進めているのに、県から快く思われないのではないか？」との意見や「部や課を減らすのは、『人減らし』のためではないか？」との意見が出て、採決の結果賛成少数で否決。24日の本会議でも賛成少数で否決されました。(下図参照)\*1

現行	改正案
都市整備部	まちづくり推進部
開発指導課	建築課
建築指導課	
都市計画課	都市計画課
みどり推進課	みどり景観課
生駒山麓公園事務所	公園管理課
開発部	
地域整備課	地域整備課

#### ●行政組織条例改正に対する採決の結果

賛成	井上清・有村・角田・伊木・吉波・塩見(市民派クラブ) 福中・小笹・谷村・中浦(民主・草創)
反対	稲田・中野(翔)
対	山田・西口・井上亮(凜風) 矢奥・下村・八田(生駒市議会公明党) 宮内・上原・浜田(日本共産党) 白本(無会派)

部の名称から「開発」は消えても条例の「分掌事務」に「関西学術研究都市建設の推進」は、改正案にも現行どおり入っていて、業務が行われないわけではありません。また、高齢社会の税収減の中で福祉を維持していこうと思えば、組織のスリム化をはかったうえで公務員数を削減し、財源を確保することが必至です。

\*1 ただし、議決は条例に関わる「部」の規定のみなので、「課」以下は市側の裁量が認められています。従って4月1日からも「開発部」は残っていますが、「課」は改正案どおりに改組されています。

# 市は病院事業推進委員会を再開できるか？

## 病院事業設置条例の改正案を否決～問われる議会の責任～

### \* 2010年度も市立病院の病床は確保 市は病院事業推進委員会を再開へ

2月9日に第44回奈良県医療審議会が開催され、平成22年度からの奈良県保健医療計画案が審議のうえ、承認されました。

計画では、西和医療圏（生駒市・大和郡山市・生駒郡・広陵町を除く北葛城郡）の基準病床を3,275床とし、この中には2009年度末で失効することが心配されていた生駒市立病院のための210床も確保されています。

山下市長は再選直後、2月末にも臨時議会を開き、12月に否決された生駒市立病院の指定管理者議案を再度提出する意向を表していましたが、この結果を受けて、最終答申が出ていなかった「病院事業推進委員会」を再開することを決定。議会と地区医師会、市医師会委員に対して、現在欠員となっている委員の推薦を依頼しました。

### \* 推進委員会再開のカギは医師会と議会に

しかし、議会のほうは3月23日の全員協議会で互選の結果、井上充生議員を選出し、25日の本会議で同議員を委嘱することに全会一致で同意しましたが、地区・市医師会は3月議会会期中に委員を推薦してこなかったため、まだ推進委員会は開催できない状況です。

市は、医師会に対して4月2日を期限として委員の推薦を依頼していますが、質問状を市に送ってくるだけで一向に選出する気配が見えません。

#### 【病院事業設置条例の改正案】

現 行	改正案
委員は、議会の同意を得て市長が委嘱し、又は任命する。委員には、奈良県医師会、生駒地区医師会及び生駒市医師会をそれぞれ代表する者を含む医療関係団体を代表する者、市民を代表する者、市議会を代表する者及び関係行政機関の職員が含まなければならない。	委員は、次に掲げる者のうちから、議会の同意を得て市長が委嘱し、又は任命する。 (1) <u>奈良県医師会の代表者、生駒地区医師会の代表者、生駒市医師会の代表者その他医療に関し識見を有する者</u> (2) 市民 (3) 議会の委員 (4) 関係行政機関の職員

### \* 問われる議会の責任

このような事態も予測されたことから、また、12月議会で市民から提出された「生駒市病院事業設置条例の改正を求める請願書」が「医師会はずし」と誤解され、「病院事業推進委員間の公平性をはかり、医師会委員の辞任で委員会が成立しなくなる事態を防ぐ」という請願の趣旨が理解されないまま不採択となったことから、市民派クラブは、再度、条例改正の必要性を説く必要があると判断し、今議会、「生駒市病院事業の設置等に関する条例」の一部改正案を提出しました。（最下図参照）

改正案でも3医師会（県・地区・市）代表者を委員の資格条件に明記し、「医師会はずし」ではないことを強調しましたが、3月16日の市民福祉委員会では、「代表者＝会長」と誤解した委員が「医師会会長は忙しく出席できないことが多い。」との理由で否決、本会議でも「市が委員を推薦依頼しているときに、このような改正案を出すのは医師会を逆なでする」との理由で否決されました。

医師会が委員を推薦しないために推進委員会が開催できないとなると、次は条例改正に反対する議会の責任が問われることとなります。

#### ●病院事業設置条例改正案の採決の結果

賛成	井上 <sup>清</sup> ・有村・角田・伊木・吉波・塩見（市民派クラブ）／宮内・上原・浜田（日本共産党）
反対	稲田・中野（翔）山田・西口・井上 <sup>充</sup> （凜風）／矢奥・下村・八田（生駒市議会公明党）／福中・小笹・谷村・中浦（民主・草創）／白本（無党派）

# 国民健康保険特別会計は赤字続き！

## 医療費の抑制のための健康づくりを～3月議会一般質問～

市の国民健康保険の保険給付費は年々増加の一途をたどり、国保税の値上げや一般会計からの借り入れでしのいでいる状態です。国の医療保険制度の抜本的な見直しが早急に求められることは言うまでもありませんが、軽症で大病院を受診しない、ジェネリック医薬品(後発の薬。新薬より安い。)を希望するなど、医療費の抑制のために私たちが取り組めることもあります。そして何よりも病気にならないための健康づくりを心がけることが大切です。今回は市の健康事業について一般質問を行いました。

### \*統計に基づいた乳幼児健診の事業評価を！

【塩見】 乳幼児健診の有効性についてどのように検討、評価を行っているか。

【池田福祉健康部長】 毎年1回、医師会の小児部会、保健師を入れた報告会を開催し検証している。

【塩見】 保健師が個々の健診結果を把握してフォローやケアに努めているが、統計をとっておらず正確な事業評価ができない。生駒市のように健診回数が多い自治体は研究データとして申し分なく、官学協同で分析、事業評価を行ってはどうか？

【池田福祉健康部長】 大学との連携や先行して取り組んでいる自治体の事例を検討する。

### \*生活習慣病予防は若年層の健康づくりから！

【塩見】 生活習慣予防には子どものころから生活習慣に留意することが必要だが、家庭への依存度が薄れ食生活が乱れがちな若い世代、子育てで自分の時間が持てない世代への健康施策は？

【池田福祉健康部長】 年齢に関係なく取り組める「いこまヘルスケア倶楽部」\*やウォーキングマップの作成等を行っている。

\*いこまヘルスケア倶楽部…パソコンや携帯で生活データや健康データを蓄積し健康チェックができるサイトです。(生駒市HPをご覧ください。)

【塩見】 10代後半から運動を生活の中に定着させることが、生涯スポーツを楽しむ健康に過ごすことになるという報告もある。成人式で「ヘルスケア倶楽部」を紹介したり、ウォーキングマップを配布したり、スポーツクラブやジムの協力を得られればお試しクーポンを贈るなど、健康づくりに向けて



他議員の一般質問は知識が広がります。自分の質問は知識が深まります。

の行政の働きかけについてどう考えるか？

【池田福祉健康部長】 必要性は感じているが、そのための方策は難しい。運動に取り組む大切さは小さい頃から育てる必要がある。

### \*健康センターセラビーいこまの有効利用を！

【塩見】 市民の健康保持及び促進を図るセラビーいこまのメディカル棟は(財)メディカルセンターと宝山寺福祉事業団に「使用許可」を与えてフロア貸ししているが、月平均4回しか使用していない部屋もある。特定の団体に貸すときは「賃借契約」を結び、常時使用する部屋に限り、そうでない部屋は健康課との密接な連携が求められる「子育てサポートセンターゆう」を移転させるなど市民のために有効利用すべきではないか？

【山下市長】 賃借料を取るには条例改正が必要。また、業界団体でも社会福祉協議会やシルバー人材センターなど公共的な性格の団体には無償貸与しているので、見解は分かれる。ただし、メディカルセンター内にある市医師会事務局には来年度から高熱水費を支払ってもらうことになっている。「ゆう」の移転は有益と考える。健康課の移転も考えており、あわせて検討していきたい。

# 山下市政のまちづくり計画がスタート！

## やっと、生駒市第5次総合計画基本構想案が修正可決！

昨年6月議会で提案されて以来、「生駒市総合計画特別委員会」においてずっと「継続審議」(\*1)となっていた「第5次総合計画基本構想案」が、3月議会においてようやく一部修正のうえ可決されました。これでようやく山下市政の「まちづくり」が系統だったものとして構築されていくこととなります。【賛成=19(市民派クラブ6、翔2、凜風3、生駒市議会公明党3、民主・草創4、白本議員 反対=3(日本共産党3)]

\*1 宮内委員(日本共産党)が「高山第二工区の開発の方向性が定まっていない」との理由で、6月以来、継続審議の動議を出し続けてきました。

### \*塩見は修正案に賛成。

昨年9月に樋口元委員(1月に失職)が提出した修正案は「政策医療を担う地域の中核的な病院の設置」と生駒市立病院開設の明記を避けた表現になっており、また「中核的な病院」とは生駒市立病院をさすとの明確な回答が得られなかったため、塩見も会派で討議する時間が必要と考え、継続審議の動議に賛成しました。しかし、12月に再度同じ質問をしたところ、「市立病院を考えている」との回答が得られたため、塩見は早急に新しい総合計画を策定するため採決すべきと継続審議には反対していました。

### \*摩訶不思議！

#### ～12月は継続審議に賛成 3月は反対～

今議会、樋口元委員の失職に伴って廃案となった修正案とまったく同内容、同趣旨のものを、3月19日の特別委員会において小笹委員(民主・草創)が提出し、この修正案が可決されました。

可決したことは喜ばしいのですが、内容が前回と変わらないにもかかわらず、12月には継続審議に賛成し、今議会は何の発言もなく継続審議に反対した委員が数名。今まで何のために継続審議に賛成してきたのか、わからないままです。

### ◆「総合計画基本構想」って何？

地方自治法第2条第4項で、「市町村は、事務を処理するにあたっては、議会の議決を経てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならない」とされています。総合計画基本構想は市町村が行うすべての事業の根幹となるものです。

生駒市では、山下市長が就任した平成18年度以降、中本前市長時代の第4次総合計画(計画年度=平成13年度～平成22年度)のもとに個々の事業が計画、実施されてきました。

しかし、山下市政は前市政から方向転換したことで、実情に合わなくなった部分もあり、新しい計画を前倒しで策定させる必要が生じ、アンケートの実施から基本構想案、基本計画の作成まで2年半をかけ、平成21年6月に議会に基本構想案を議会に提案しました。

第5次総合計画は、「まちづくりの計画を考えることこそ公務員の醍醐味」との山下市長の考えに沿って、従来とは異なり、コンサルタントに頼らず、市民会議の中で課題を見出し、職員が自分たちで資料集めから素案作りを行い、公募市民も入った審議会の中で検討、作成していったところに特徴があります。

## 塩見の議会報告会&塩見との意見交換会にお越しください！

とき…4月29日(祝) 13:30～15:30 ところ…セイセイビル301

3月議会報告会と意見交換会を開催します。ニュースレターではお伝えしきれない話も盛りだくさん。皆さまの議会に対するご意見もこの機会にお聞かせください。

当日、ご都合の悪い方はご連絡くだされば出張報告会もいたします。場所だけご提供ください。

お問い合わせ：0743-75-3403

